

認 定 書

国住指第 3044 号
平成 29 年 12 月 28 日

積水化学工業株式会社
代表取締役社長 高下 貞二 様

国土交通大臣臨時代理
国 務 大 臣 齋 藤 健



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060FL-0960
2. 認定をした構造方法等の名称
被覆材付ポリエチレン管／ポリエチレンテレフタレート不織布・黒鉛含有エポキシ樹脂シート・アルミニウムはく張ガラスクロス・セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

被覆材付ポリエチレン管／ポリエチレンテレフタレート不織布・黒鉛含有エポキシ樹脂シート・アルミニウムはく張ガラスクロス・セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ 340mm以下)
	面積	0.091m ² 以下
占積率 (開口面積に対する被覆材付配管の断面積の割合)		75.8%以下
貫通する床の構造等		ALCパネル又は鉄筋コンクリート 厚さ100mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項 目	仕 様		
熱膨張性シート	材料	ポリエチレンテレフタレート不織布・黒鉛含有エポキシ樹脂シート・アルミニウムはく張ガラスクロス	
	寸法	厚さ：2.5(-0.25)mm以上 幅：79(-1)mm以上	
	形状	シート状	
	使用方法	1周巻き(巻き付け長さに応じて2分割としてもよい)	
	基材1	材料	アルミニウムはく張ガラスクロス
		厚さ	0.17(±0.08)mm
	シート	材料	黒鉛含有エポキシ樹脂シート
		厚さ	2.15(-0.11)mm以上
	基材2 (配管側)	材料	ポリエチレンテレフタレート不織布
		厚さ	0.18(±0.06)mm
充てん材	材料	セメントモルタル	
	組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント 25 砂 75 (日本建築学会建築工事標準仕様書 JASS 15 左官工事に準拠)	
	使用量	隙間を密に充てん(床厚方向100mm以上)	

表3 配管の仕様

項目	仕様	
給水管・排水管 (以下、配管という)	材料	水道配水用ポリエチレン管 (建築設備用ポリエチレンパイプシステム研究会規格に準拠：PWA001、PWA005)
	外径	φ 216 (+0.65)mm以下(呼び径200以下)
	厚さ	19.7 (+2.2)mm以下
被覆材	材料	グラスウール(板状又は筒状) ただし板状の場合は、配管に巻き付ける際φ 0.5mm以上の鉄線又はステンレス鋼線により仮固定すること
	寸法	仕上げ外径φ 296 (+8)mm以下、厚さ40 (+4)mm以下
	密度	32 (-3) kg/m ³ 以上

4. 副構成材料の仕様：

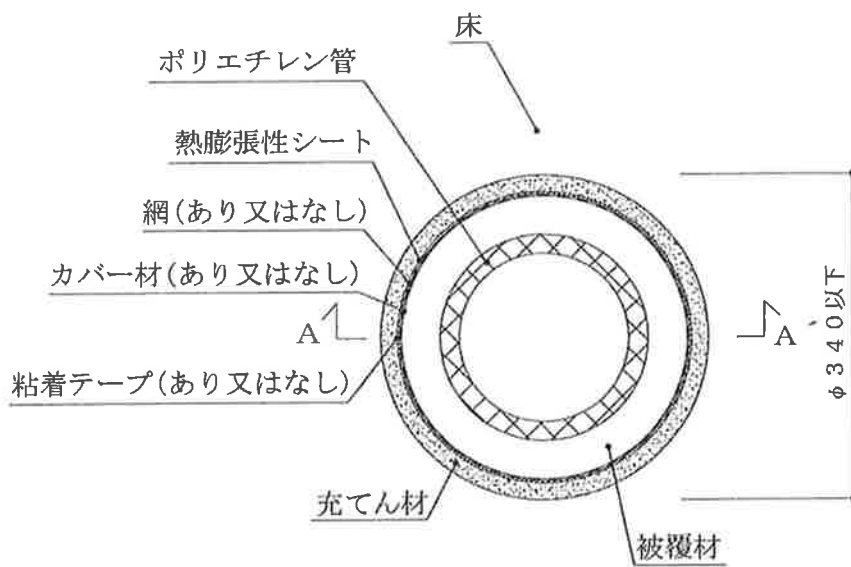
副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

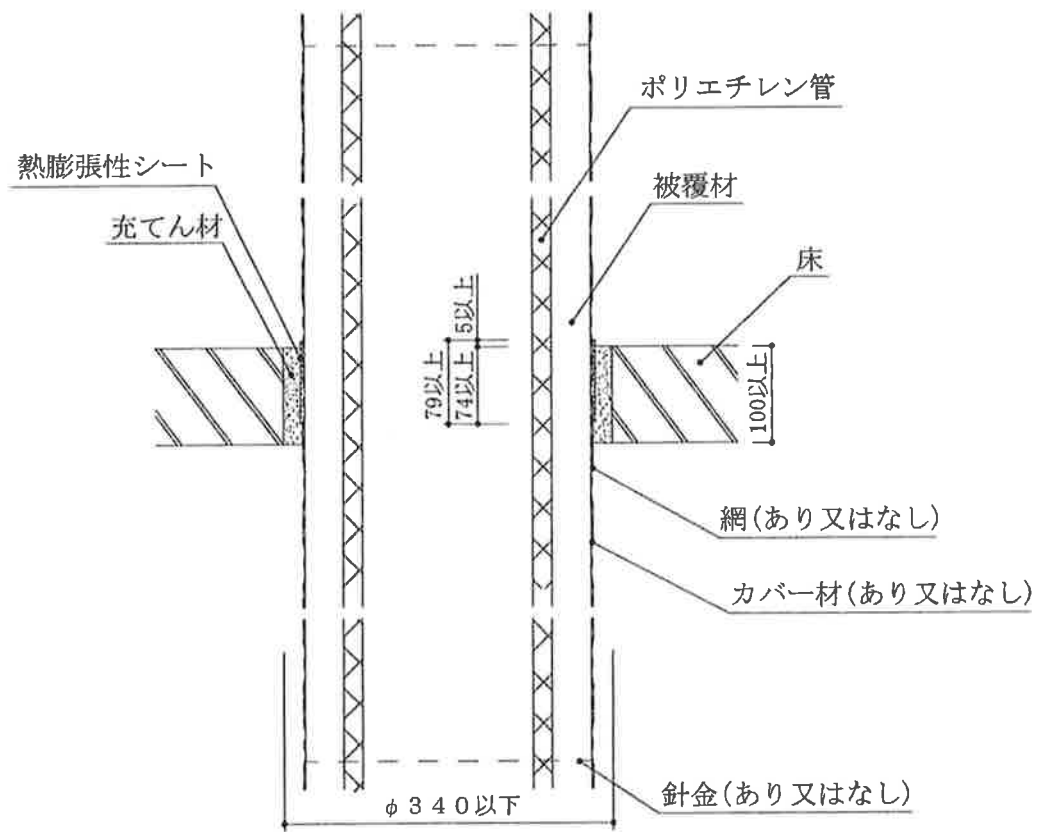
項目	仕様	
カバー材	材料	あり又はなし ①アルミニウムはく張クラフト紙 ②アルミニウムはく張割布 ③アルミニウムはく張ガラスクロス
	厚さ	2mm以下
	総有機量	50 (+5) g/m ² 以下
	使用方法	被覆材の表面に巻付け
網	材料	あり又はなし 金属線(銅線、鉄線又はステンレス鋼線、塩化ビニル樹脂被覆含む)
	使用方法	カバー材の表面に巻付け
粘着テープ (熱膨張性シート、 カバー材固定用)	材料	あり又はなし ①片面粘着テープ ②両面粘着テープ ③アルミニウムテープ
	厚さ	0.4mm以下
	使用方法	熱膨張性シート、カバー材の端部に使用

5. 構造説明図：

構造説明図を図1に示す。



平面図



A-A 断面図

図1 構造説明図

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 開口部の確認

開口部の開口面積、配管の寸法や種類、占積率、床の構造、床の厚さ等が仕様に適していることを確認する。

(2) 熱膨張性シートの墨出し

配管の熱膨張性シートを巻付ける位置に墨出しをする。

(3) 熱膨張性シートの巻付け

上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを1周巻き付ける。熱膨張性シートは、巻き付け長さに応じて2分割とすることができる。熱膨張性シート巻付けの際、端と端は隙間なく必ず接するように巻付けるか、端部を重ね合わせる。また必要に応じて、熱膨張性シート及びカバー材の端部に粘着テープを用いても良い。

(4) 充てん材の施工

配管を所定の位置に設置し、隙間を充てん材(セメントモルタル)で密に充てんする。